

## 一社) 壁装研究会 2024 年定期研修会開催報告

一社) 壁装研究会 (前田光弘会長) は、10 月 30 日 (水) に石川県金沢市の箔座 (株) にて開催した。参加者 30 名。

箔座 (株) 金沢市森山 1 丁目 30 番 4 号

箔製品の企画、製造、販売 (小売、卸)



A 班 1 組、2 組 (計 16 名)



B 班 3 組、4 組 (計 14 名)

研修会は当会の「高品位、高デザイン壁紙の研究・普及」に関する事業の一環として行われ、織物・紙壁紙等製造部門の研修では 6 回目の開催となる。

今回は、金箔、銀箔の研修として金沢市の箔座 (株) にて開催された。

参加人数の多さから、研修内容の充実のために、A 班、B 班の 2 班にグループ分けし、さらに各班 2 組ずつに分かれ、箔座様から研修を受けた。

### ・箔座 (株) 本店

黄金の茶室の見学、箔座様の会社紹介、箔の歴史、縁付金箔、断切金箔の説明を受ける。



箔座(株)本店 黄金の茶室



前田会長ご挨拶

- ・金箔工房、箔品工房

金箔、銀箔、プラチナ箔等の工場製造技術、商品加工技術を研修。

- ・ひがし茶屋街で箔座ひかり蔵、茶屋美人等見学

- ・まとめ

この度の研修では、2020年12月にユネスコ無形文化遺産に指定された、箔打ち紙に手漉き和紙を用いて作られる「縁付金箔」の伝統技術を学び、近代金箔である短時間で金箔が作られる「断切金箔」を学んだ。「縁付金箔」は、約400年前からつくられ、製作には約半年かかり、竹の道具で1枚ずつ切り揃えられるのに対し、「断切金箔」は約50年前からつくられ、製作には約14日間かかり、大包丁で一気に切り揃える技法との説明を受ける。職人の継承も今後の重要な課題となっており、壁紙業界と状況は大きくは変わらない印象を受ける。高品位、高デザイン壁紙の普及には欠かせない意匠性を持った商材として今後の普及に尽力することも当会の歩むべき道といえる。

A班、B班分かれて研修を受けたが、最後は箔座(株)本店にて集合し、現地解散となった。